

第6学年国語科学習指導案

日 時 平成21年10月14日(水)6校時
児 童 男2名 女4名 計6名
授業者 新田 厚子

- 1、単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう(光村6下)
教材名 「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」

2、単元について

(1) 児童観

児童はこれまで、5年生「サクラソウとトラマルハナバチ」、6年上巻「生きものはつながりの中に」を通して文章の構成や文末表現から要旨をとらえるとともに、読み取った内容について自分の考えをもつ学習をした。これらの学習を通して、段落のまとまりを意識して内容を読み取ったり、中心語句や中心文から説明的文章全体の構成や文末表現を手がかりに筆者の主張や表現の工夫について考えたりする力が少しずつ育ってきている。しかし、個々の読みには差があり、説明的文章全体を要約したり筆者の訴えに対する自分の考えを表現したりする児童は少なく段階を踏まえた指導を必要とする。

昨年度のCRTの結果では、「読むこと」の正答率が64.2%(全国71.3%)と全国平均より低い。特に要約しながら内容を読み取る問題が58.8%(全国70%)と落ち込みが見られ、文中において筆者が最も伝えたいことを読み取る力が不足していると言える。

(2) 教材観

本単元は、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」から構成されている。

「平和のとりでを築く」は、戦争で広島に原子爆弾が投下され、傷だらけになった原爆ドームが、多くの人々の平和を願う心によって世界遺産となった経緯を述べた説明文であり、「話題提示—説明—まとめ」と大きく3つのまとまりで構成されている。「話題提示」では、原爆ドームの存在と筆者の思いを紹介している。「説明」では、「原爆ドームがたどってきた歴史」と「世界遺産になるまでの原爆ドーム」の2つに分けている。「まとめ」では、原爆ドームが世界の人々にとって平和を訴える大切な遺産であることが述べられ、最後に原爆ドームを大切にすることが平和を守ることでありという筆者の強い思いの文で締めくくられている。文章は簡潔でわかりやすく、史実も編年体で説明されていて、文と文・段落と段落の関係も比較的とらえやすい作品である。原爆ドームの話題から世界の平和を願う筆者の思いが、題名やまとめに凝縮されている。

「自分の考えを発信しよう」は、「平和」について材料を集め自分の考えをもち発信していく学習である。様々な情報を集め学ぶだけでなく、それをもとに自分の考えを深め外部に発信することで表現能力を高めることもできると考える。以上のことから、今後の社会を生きていく子どもたちにとって「平和」について自分なりの考えを表現し、発信させるのに適した教材であると考えられる。

(3) 指導観

本単元では、筆者の訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもち伝える力を確実に身に付けさせたいと考える。そのために、各段階において以下の点に留意して指導していく。

「つかむ」段階では、単元全体のねらいを知らせるとともに、単元のゴールを「平和通信作り」とし目的意識をもたせたい。

「ふかめる」段階では、原爆ドームがたどった歴史、人々の思い、筆者が訴えたいことを読み取り、それらに対し自分の考えをもたせていく。その際、事実と意見との区別、文末表現の変化、文章構成や題名などに着目させていきたい。

「ひろげる」段階では、平和に関する自分の課題を決め「平和通信作り」を行う。自分の考えを十分書き表すことができるように、事例と意見を整理しながら読み手に分かりやすいようにしていきたい。

本校が作成した指導内容系統表において、本単元で重点的に指導する項目は、要⑥「筆者の意図・意見をとらえることができる」語⑩「説明の文と筆者の考えの文を区別することができる」である。

3、単元の指導目標・評価規準

(1) 主目標

◎筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもち表現する。

○「平和」についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立てて文章を書く。

(2) 観点別目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への関心 意欲・態度	○筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとする。	① 興味をもって文章を読み、筆者の考えについて自分の考えをもとうとしている。
読む能力	◎筆者の考えをまとめ、自分はどうのように考えるかを明確にしながらか読むことができる。(ウ) ○「平和のとりでを築く」という題名が意味することに注意しながら読むことができる。(オ)	① 筆者の考えを読み取り、自分の考えを明確にしながらか読んでいる。 ② 「平和のとりでを築く」の意味を考えながらか読んでいる。
話す・聞く能力	○話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。(エ)	①話し手の意図を聞きとるとともに、文章構成、文末表現、事実と意見の区別はどうか注目しながら聞いている。
書く能力	○自分の考えを明確に表現するために、材料を選び直したり、効果的な文章の組み立てを考えたりすることができる。(イ) ○事実と意見を区別して書いたり対立する意見に反論を述べたりすることができる。(ウ)	① 必要な材料を選び、効果的な文章の組み立てを考え、自分の考えを明確に表現している。 ② 事実と意見を区別して、根拠を明確にした文章を書いている。
言語についての 知識・理解・技能	○文章にはいろいろな構成があることを知り、適切なものを考えることができる。 (イー[キ])	①いろいろな文章構成を知り、適切なものを考えている。

4、単元の指導・評価計画 (15時間)

段階	時間	目標	学習活動 (・主な学習活動 ※指導上の留意点)	評価規準 (評価方法)
つかむ	1	平和のとりでを築くに興味をもって読み、学習計画を立てることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 単元全体の活動内容をつかもう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 戦争や平和について今の自分の知識や考えを発表し合う。 全文を読んでおおまかな内容をつかむ。 学習のゴールは「平和通信」作りと知る。 学習計画を知り、見通しをもつ。 新出漢字を確認し練習する。 意味の分からない言葉を国語辞典で調べる。 ※感想を交流することで、教材への関心を高めるとともに、単元の見通しをもたせる。	[関①]戦争や平和について知っていることや考えていることを発表したり書いたりしている。 (観察・ノート) [関①]教材文を読んで、分かったことや思ったことを具体的にノートに書いている。 (観察・ノート)
ふか	2	筆者の原爆ドームに対する思いを読み取りそれに対する自分の意見や感想をもつことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 筆者の原爆ドームに対する思いを読み取り意見や感想をもとう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 全文を読んで、感想や意見を書く。 ※筆者の思いに対して自分はどうか考えさせる。	[読①]筆者の思いと事例をとらえ、自分の意見や感想をもっている。 (ノート・発言)
め	3	全文を読み、まとまりに分けて、文章構成をつかみ小見出しをつけることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 文章構成をつかみ小見出しをつけよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 各段落が、事実・意見のどちらが書かれているかをとらえる。 ※主語や文末表現に着目させ、段落のつながりを確認させる。 ※小見出しは体言止めで表現させる。	[読①]事実の段落か意見の段落かを考えて文章構成をつかんでいる。 (観察・ノート) [言①]段落の役割を理解し文章構成を考えている。 (観察・ノート)
	4	原爆ドームがたどってきた歴史について読み取ることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 原爆ドームがたどってきた歴史を読み取ろう。 ①②③④⑤ </div> <ul style="list-style-type: none"> 原子爆弾がもたらした被害について読み取る。 形式段落の中心文にサイドラインを引く。 意味段落の要約をする。(①～⑤段落) ※「原子爆弾」という言葉から、被害の様子に着目させる。	[読①]原子爆弾が投下された日の市街地の様子や建物の姿をまとめている。 (ノート・発言)
	5	原爆ドーム永久保存へと動いた人々の思いを読み取ることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 原爆ドーム永久保存へと動いた人々の気持ちをよみとろう。 ⑥⑦⑧ </div> <ul style="list-style-type: none"> 原爆ドーム永久保存へと動いた人々の思いを読み取る。 形式段落の中心文にサイドラインを引く。 意味段落の内容を要約をする。(⑥～⑧段落) ※「保存反対論」「日記」という言葉をみつけその意見と内容に着目させる。	[読①]原爆ドーム保存に対する市民の思いをまとめている。 (ノート)
	6	原爆ドームが世界の遺産として認められるまでの筆者の思いを読み取ることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 原爆ドームが世界遺産として認められるまでの筆者の思いを読み取ろう。 ⑨⑩⑪ </div> <ul style="list-style-type: none"> 原爆ドームが世界遺産として認められるまでの筆者の思いを読み取る。 形式段落の中心文にサイドラインを引く。 意味段落の内容を要約する。(⑨～⑪段落) ※「わたし」が主語になっている文に着目させる。	[読①]原爆ドームが世界遺産として認められるまでの筆者の思いをまとめている。 (ノート)

7 本 時	原爆ドームを通して 筆者が伝えたいこと を読み取ることがで きる。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">原爆ドームを通して筆者が伝えたいことは 何かを読み取ろう。⑫⑬</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームを通して筆者の伝えたいことを まとめることができる。 ・中心文を確認する。 <p>※ユネスコ憲章の意味と「平和のとりで」の意 味について考えさせる。</p>	[読①]筆者が伝えたいことを 叙述の意味することを押さえ ながらまとめている。 (ノート)
8	筆者が伝えたいこと をまとめ自分の考え を書くことができ る。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">筆者の考えに対する自分の考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全文を振り返り筆者の伝えたいことに対して 意見文書く。 <p>※自分の意見が明確に伝わるように、どの部分 から考えたのか根拠を明らかにさせる。</p>	[書①]筆者が伝えたいこと についてまとめ、自分はどうか 考えるか書きまとめる。 (ノート)
ひ ろ げ る	9 今までの学習をふま えて「平和」につい て考えを深めるため 自分の課題をもつこ とができる。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「平和」に関する自分の課題を決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」について自分が詳しく調べてみたい 課題を決める。 <p>※「平和のとりでを築く」についての自分の考 えから興味のあることを引き出すとともに、 同じような課題をもつ友達の意見を参考に させる。</p>	[関①]「平和のとりでを築く」 の内容を意識しながら自分の 課題につながることを書いた り、話し合ったりしている。 (発表・ノート)
10 11 12	自分が伝えたいこと に関する情報を集め ることができる。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題解決に必要な情報を集めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えに説得力をもたせるために必要 な情報を集める。 (インターネット・本・新聞など) ・インターネットを活用するうえで大切なこ とやルールを理解する。 <p>※児童の課題追求に役立つような資料を紹介 し参考にさせる。</p>	[書①]自分の考えに説得力を もたせるために必要な材料を 集めている。 (観察・ノート)
13	集めた材料をもとに 自分の考えをまとめ、 効果的な文章の構成 を考えることができ る。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">平和通信の構成を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料の中から必要なものを選択し、 自分の意見が伝わるに組み立てを考える。 <p>※教科書の構成例を参考にさせながら、文末表 現、事実や考えを区別させながら、各段落を考 えさせる。</p>	[書②]事実と意見を区別して 根拠を明確にした文章構成を 考えている。 (ノート)
14	自分の考えが相手 に伝わるように、 「平和」について自 分の考えを書くこ とができる。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「平和」について自分の考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の工夫を考えながら根拠を明らかにして 自分の考えを書く。 <p>※自分の考えの根拠となる具体的な事例と自 分の考えを読み手にわかるように書かせる。</p>	[書②]事実と意見を区別して、 根拠を明確にした文章を書い ている。 (ノート)
15	平和について考えた ことを発表し、意見 を交換することがで きる。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「平和」について考えたことを発信しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」について自分の考えを発表する。 ・お互い意見・感想を発表する。 ・聞く視点にそって相互評価する。 <p>※文章構成、文末表現、事実と意見の区別はど うか注目しながら聞くようにさせる</p>	[話①]話し手の意図を聞きとる とともに、文末表現、事実と意 見の区別はどうか注目しながら 聞くようにさせる。 (観察・チェックシート)

(3) 板書計画

二筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

平和のとりでを築く

大牟田 稔

原爆ドームを通して、筆者が伝えたいことは何かを読み取ろう。

⑫原爆ドームは、世界の人々に警告する記念碑なのである。

⑬原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

国連のユネスコ憲章

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから

人の心に平和のとりでを築かなければならない。」

まとめ

原爆ドームは、
わたしは（も）、
だ。)

6 座席表

黒 板

The seating chart consists of a central rectangular box at the top labeled '黒板' (blackboard). Below it, five empty rectangular boxes are arranged in a U-shape: two on the left side, two on the right side, and one centered at the bottom. These boxes represent the positions of students in a classroom.

原爆ドームは、後世まで、それを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用禁止、さらには戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界の遺産なのだ。													要旨
まとめ		世界遺産への道のり			説明Ⅰ 原爆ドームがたどった歴史							問題提起	段落 意味
⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落 形式
それを		それは そして しかし		そして この	このこと		その	この	これは この	この また		この その そして	接続語 指示語
原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産である。	原爆ドームは、核兵器は不必要だと世界の人々に警告する記念碑である。	世界遺産決定の知らせが届いたとき、世界の人々の平和を求める気持ちを感じた。	世界遺産は、文化遺産と自然遺産を守っていくための制度である。	原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。	今の形を保つため、補強工事が何度か繰り返された。	被爆が原因とみられる病で亡くなった一少女の日記に後押しされ、「原爆ドーム永久保存」に立ちあがった。	戦後間もないころ、原爆ドームを保存するか取り壊すか議論が続く。	建物は全焼したものの、れんがと鉄骨の一部は残った。	一九四五年、広島に原子爆弾が投下された。	原爆ドームは（物産陳列館）は、多くの市民に親しまれていた。	原爆ドームは、一九一五年、物産陳列館として完成した。	原爆ドームが世界遺産の仲間入りを果たしたとき、わたしは、ドームがたどってきた年月を思わずにはいられなかった。	要点
人の心 平和のとりで 世界の遺産	記念碑 核兵器 不必要	審査 決定 平和	文化遺産 自然遺産	世界遺産	補強工事 寄付	急性白血病 被爆 永久保存	保存 反対	爆心地 特徴	原子爆弾 生命	親しまれた	物産陳列館 目立つ	とりで 原子爆弾 原爆ドーム	中心語句

